

# 平成 29年度 とちぎ夢大地応援団 カレッジ活動

## 「佐野市下秋山地区」

### 第3回活動報告 H30・1・21(日)

平成 29 年度第 3 回とちぎ夢大地応援団カレッジ活動が 1 月 21 日、佐野市下秋山地区で開かれ、宇都宮大学の学生がヤマブドウ栽培用のパイプハウスづくりを行いました。

今回参加したのは、宇都宮大学農学部 1～3 年生 7 名と教員 1 名で、あきやま有機農村未来塾（藤川昭夫代表）の会員 20 名らとともに、2 棟（3a）のパイプハウスの組立てに汗を流しました。

学生たちは、地元の人から作業の手ほどきを受けた後、男子学生はパイプを刺す地面の穴開けの力仕事を主に担当、女子学生はハシゴの上でパイプをつなぐ作業を手際よく行っていました。

昼食は、宇都宮大学で育成した米「ゆうだい 21」のおにぎりやけんちゃん汁、卵焼きなどが並べられ、地元の人と一緒に食べながら交流を図りました。

午後も作業を行い、2 棟のハウスの組立てを終えた学生は「重労働だったが、若い人に手伝ってもらって仕事はかどったといわれ、うれしかった」と感想を述べていました。

未来塾では、数年前からヤマブドウの栽培を手掛けており、将来はワインを作って売り出す計画で、今回組み立てたハウスには 3 月にヤマブドウの苗木が植えられる予定です。



地元の人たちと一緒に



開会式





始めはパイプ運びから



男子は主に穴あけ、石にぶつかり大苦戦



女子はパイプつなぎ



作業は大詰め





2棟のパイプハウスが組み立てられました



昼食は地元の公民館で地元の人たちと一緒にいただきました



昼食のメニューは「ゆうだい21」のおにぎりや卵焼き、けんちん汁に白菜の漬物



昼食の後、あきやま有機農村未来塾の取り組みが紹介されました